

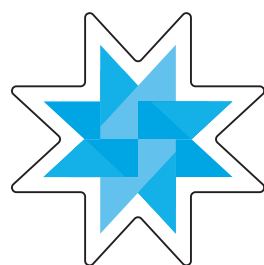


シール印刷(最大24種)_B5横

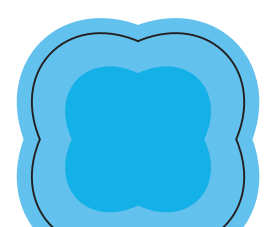
- 1つのシートに作成できるシールは最大24種までとなります
- 印字範囲 W257×H182mm



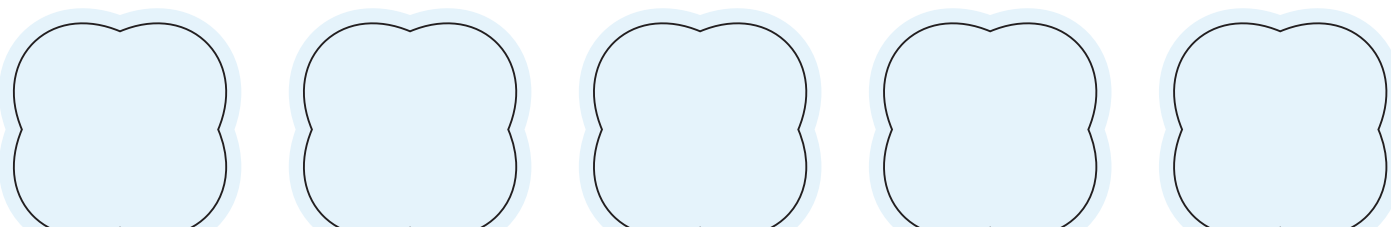
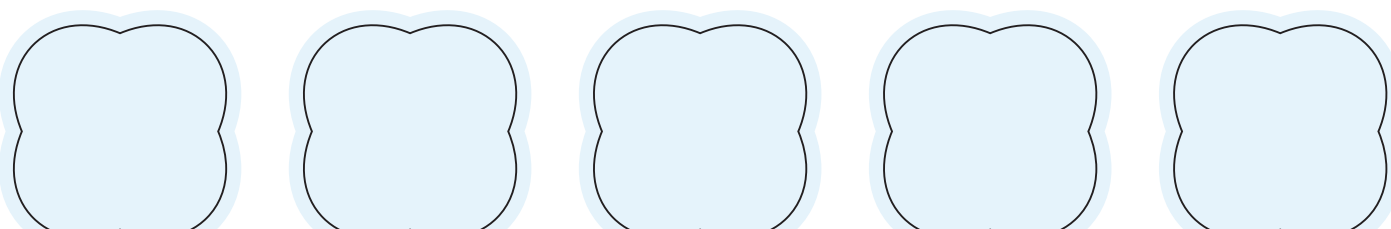
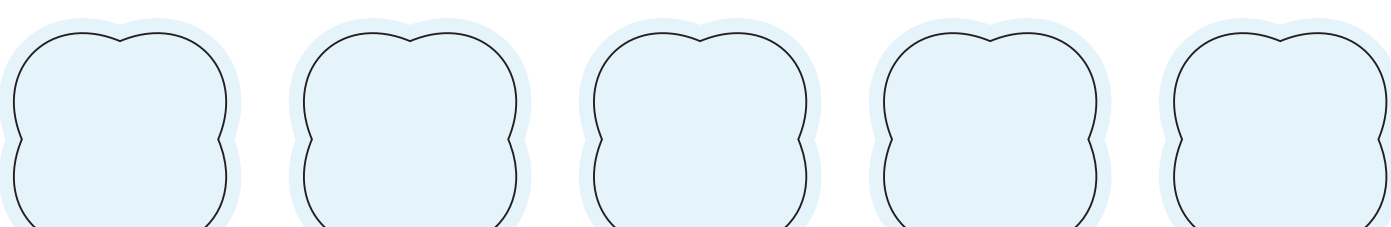
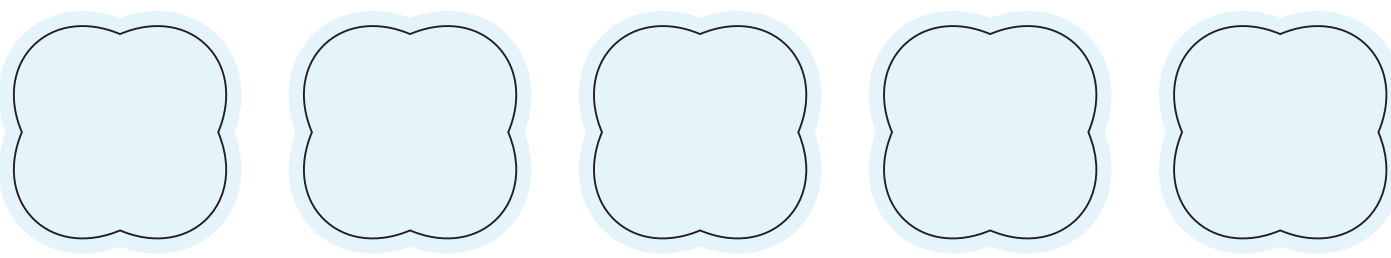
シール作成例 ※1つのシートに作成できるシールは最大24種までとなります



(例)塗り足しなし



(例)塗り足しあり



◎1つのシートに作成できるシールは最大24種までとなります

◎絵柄は「制作レイヤー」もしくは新しいレイヤーで、カットラインは「カットパス」レイヤーで作業をお願いします。

◎カットパスの線の太さは0.25mm、線の色はK100で作成してください。

◎シール周囲に白い部分を出したくない場合は、塗り足しを作成してください。(カットパスの外側2mmまでのばす)

◎全て4色(CMYK)または1色(K)で作成してください。(RGB・特色データ不可)

◎文字はアウトライン化してご入稿ください。(書式メニュー⇒アウトラインを作成)

◎入稿用データは別名保存し、開いたバージョンで保存をお願いします。

(cs5で作成した場合は、cs5で保存してください)

◎印刷機の特性上、白色の再現ができません。データ上で白く塗られた部分はシール紙の色になります。

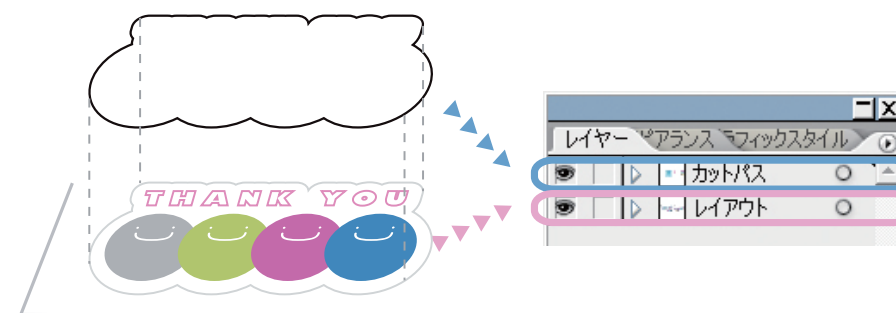
(クラフトシールをお選びいただいた場合などご注意ください)

カットパスの作成について

シール印刷には、切り抜くためのパス(カットパス)が必要です。このパスを読み取って機械や抜き型で切り込みを入れていくため、複雑すぎる線は切り抜けない場合があります。

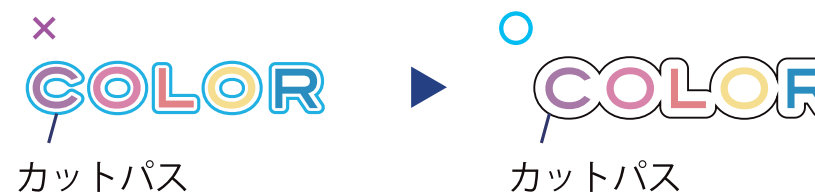
①カットパスは、プリントするデータと分けて

「カットパス」レイヤーに作成します。

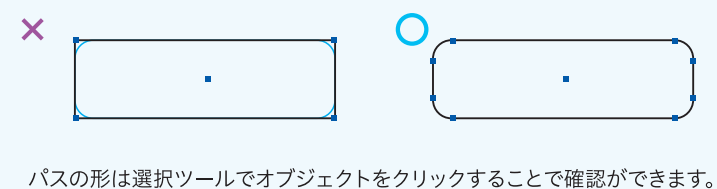


②絵柄の周囲を一筆書きになるように、「一続きの線」

(線幅:0.25mm、色:K100%)で作成してください。



カットパスは、パス自体の形が切り抜きたい形になっている必要があります。「アビエランス」や「効果」などの機能で変形しているパスは見た目と異なる仕上がりになりますので、カットパスには使用しないでください。



③カットパスはズれる可能性があるため、

文字やイラストなど切れては困る

オブジェクトから1mm以上の間隔をあけて作成してください。



背景のあるシールは、カットラインより

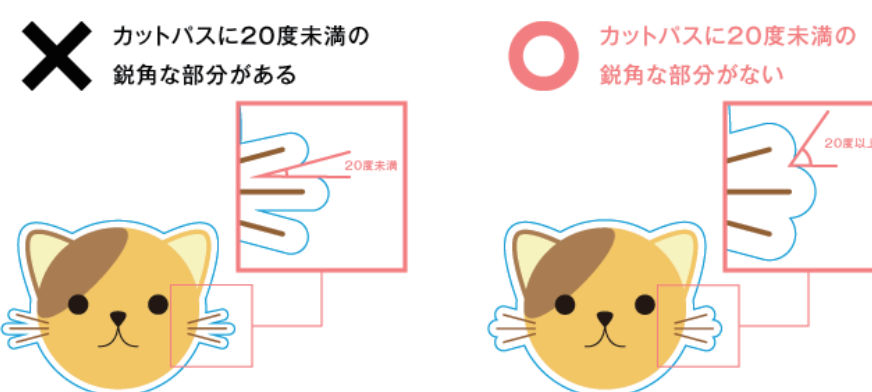
背景を2mm伸ばした「塗り足し」を作成してください。

特に小さいシールは若干のズレでも目立ってしまう可能性があるため、カットラインに余裕を持たせることをおすすめします。

④カットパスの角は、鋭角すぎると綺麗に

切り離しが出来ない場合があるため、

20度以上の角度を推奨いたします。



⑤隣り合うシール同士のカットラインは、

5mm以上離れるように配置してください。

